

官報

號外 昭和十五年二月十七日

○第七十五回 貴族院議事速記録第十一號

昭和十五年二月十六日(金曜日)午前十時二十一分開議

議事日程 第十一號

昭和十五年二月十六日

午前十時開議

第一 昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 會議(委員長報告)

第二 昭和十四年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 會議(委員長報告)

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號) 會議(委員長報告)

第四 委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第五 昭和九年法律第四十五號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第六 裝蹄師法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第七 大正十一年法律第五十二號中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(伯爵松平賴壽君) 報告ヲ致サセマ

(白木書記官朗讀)

昨十五日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)、昭和十四年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和九年法律第四十五號中改正法律案可決報告書

裝蹄師法案可決報告書

大正十一年法律第五十二號中改正法律案可決報告書

○議長(伯爵松平賴壽君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、福永吉之助君、病氣ノ爲十四日間請假ノ申出ガゴザイマシタ、許可致シテ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイモノト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程ニ移リマス、日程第一、昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、第二號、日程第二、昭和十四年度特別會計歳入歳出總豫算追加案、特第一號、

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)可決報告書

別會計歳入歳出豫算追加案、特第一號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件、追第一號、會議、委員長報告、是等ノ三案ヲ一括シテ議題ト爲スコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス、委員長井上子爵

(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ)

一 昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

一 昭和十四年度特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

一 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)

右衆議院ヨリ受領シタル各案ヲ審査シ總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年二月十五日

委員長 子爵井上匡四郎

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(子爵井上匡四郎君演壇ニ登ル)

○子爵井上匡四郎君 只今議題トナリマシタ三案ニ付テノ豫算委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、豫算委員會ハ昨日午後開會致シマシテ、先ヅ政府ノ説明ヲ聽取致シマシタ、其ノ大要ヲ御説明申上ゲマス、昭和十四年度歳入歳出總豫算追加案第二號ニ計上致シマシタ歳出追加額ハ二千九百餘萬圓デアリマシテ、之ガ財源ハ、昭和十四

年度豫算ノ實行上ニ於ケル歳出ノ節約ニ依リ生ジマスル所ノ歳入超過額ノ内ヨリ充當スル計畫デアリマス、歳出追加額ノ内譯ハ、經常部千六百餘萬圓、臨時部千三百餘萬圓デアリマシテ、今其ノ主要ナル事項ヲ申上ゲマスレバ、大藏省所管ニ屬スル内國稅拂戻金ノ増加千六百餘萬圓、農林省所管ニ屬スル米穀増産ノ爲ノ耕地事業助成ニ要スル經費百五十餘萬圓、九州地方其ノ他風水害應急及復舊施設ニ要スル經費七十餘萬圓、内務、文部、農林及厚生ノ各省所管ニ屬スル中國地方其ノ他ニ於ケル旱害ニ關スル經費總額千五十餘萬圓等デアリマス、右ノ内、内國稅拂戻金ノ増加ハ、麥酒清酒等ノ滿洲支那方面ヘノ輸出増加等ニ伴ヒマシテ、租稅ノ拂戻ヲ要スルモノガ増加致シマシタノニ基クモノデアリ、米穀増産ノ爲ノ耕地事業助成ニ要スル經費ハ、昭和十五年產米増加ヲ目的トシテ、本年度内ニ於テ水田造成、暗渠排水工事等ニ對スル補助獎勵ヲ爲サントスルモノデアリマス、又中國地方其ノ他ニ於ケル昭和十四年ノ旱害ニ付キマシテハ、政府ハ取敢ズ第二豫備金支出、豫備金外國庫剩餘金支出等ノ方法ニ依リ、緊急ノ措置ヲ講ジタノデアリマスガ、尙本年度内ニ於ケル所要ノ經費ヲ茲ニ追加豫算トシテ計上致シテ居ル次第デアリマス、其ノ内容ハ、旱害地方救済ノ爲ノ地方團體ノ土木事業ニ對スル補助、罹災者ノ兒童ニ對スル食糧ノ給與、被害耕地ノ復舊ニ對スル助成及窮乏ナル罹災者ニ對スル醫療救護、其ノ他子女保育施設ノ整備充實ニ要スル經費等デア

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

リマス、尙昭和十四年度特別會計歲入歲出豫算追加第一號ハ、朝鮮總督府特別會計ニ屬スルモノデアリマシテ、昭和十四年ノ中南鮮地方ニ於ケル旱害對策施設ノ爲、本年度内ニ於テ必要ナル經費ヲ計上致シテ居リマス、最後ニ豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ關スル件追第一號ハ、中國地方其ノ他ニ於ケル旱害對策トシテ必要ナル自作農創設維持臨時助成金、朝鮮ニ於ケル食糧配給機關ノ損失補償ニ關スルモノデアリマス、次ニ質疑ニ入りマシテ、委員カラ二ツノ質問ガゴザイマシタ、其ノ趣旨ノ大略ヲ御紹介申上ゲマス、其ノ一ハ、政府ハ内外地ニ對シテ米ノ増産ヲ計畫シテ居ルガ、最近ノ米ノ需要額ノ増加ハ、所謂非常時ニ基因スル一時的ノモノデアリ、從ツテ將來ハ又米ノ減産ヲ必要トスル時期ガ來ルノデハナイカト云フ趣旨ノ質問デアリマシタ、他ノ質問ハ、日本ハ日滿支ヲ一體トシテ食糧問題ヲ解決セネバナライノデアル、此ノ目的ニ對シテハ、今日ハ多量ノ米ヲ外地カラ輸入サレナケレバナライノデアル、今日政府ノ内地ニ於テ執リツ、アル所ノ増産米計畫ハ不十分デアル、モット徹底的ナ方策ヲ講ズル必要ハナイデアラウカト云フ質問デアリマシタ、第一ノ質問ニ對シマシテハ、本追加案ニ計上致シマシタルモノハ、主トシテ風水旱害ニ依ル應急及復舊施設ニ要スル經費デアルガ、米ノ一般需要ノ増加ハ、國力ノ發展及ビ人口ノ増加等恒久的ノ原因ニ依ルモノデアッデ、所謂非常時ニ基因スル一時的ノ原因ニ依ル

モノデハナイ、從ツテ將來需要額ノ減少ヲ來スト云フヤウナコトハナイと思フ、第二ノ質問ニ對シマシテハ、政府ハ十五年度ニ於テハ、内地ハ七千百餘萬石ヲ目標トシテ計畫ヲ立テ、居ルノデアル、之ヲ遂行スルニ對シマシテハ、肥料ノ増産又其ノ配給ノ圓滑ヲ圖リ、又一方配合肥料ヲ制限シ之ヲ合理化シテ、萬遺憾ナキヲ期シテ居ルト云フ答辯デアリマシタ、討論ニ入りマシテ、別ニ發言モナク直チニ採決ニ入り、滿場一致ヲ以テ三案ヲ可決致シマシタ、此ノ段御報告申上ゲマス

○子爵大河内輝耕君 質問致シタウゴザイマスガ……
○議長(伯爵松平賴壽君) 宜シウゴザイマス

(子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル)

○子爵大河内輝耕君 皆サンヲ御煩シシテ實ハ恐縮ナシ、實ハ昨日委員會デヤッテシマフ積リデアリマシタガ、大臣ガオイデニナラナカッタカラ仕方ナク茲ニ持越スコトニナッタ、ソレデ一言政府ニ伺ッテ置キタイノデスガ、ア、云フ重大ナ豫算案ヲ議スル場合ニハ、其ノ所管ノ大臣ハ是非出テ戴キタイ、決シテ私ハ、現内閣ハ勿論如何ナル内閣モデス、貴族院ヲ輕ク視テ居ルトカ、甘ク見テ居ルト云フコトハ、決シテ考ヘマセス、ソナコトハ決シテ信ジテ居リマセス、併シサウ云フ噂ハアルノデス、確カニアリマス、ソレデスカラ昨日オイデニナラナイコトハ、議案ヲ輕ク視テ居タト云

フコトノ譏リハ免レナイ、貴族院ハ決シテ輕ク視テ居ナイ、併シ此ノ議案ニ對シテ大シテ重キヲ置イテ居ルモノデナイト云フ印象ヲ、我々ニ與ヘタコトハ掩フベカラザル事實、私ハ此ノ點ニ於キマシテ當局トスツカリ說ヲ異ニシテ居ル、非常ニ重大ナ議案ダト心得テ居リマス、ドウゾ斯ウ云フ場合ハデス、宜シク議長ナリ委員長ナリト政府ガ御打合セニナッテ、必ズ御出席下サルヤウニ御願ヒ致シタイ、ソレデナイト、シタクモナイ質問ヲ又此處デ致サネバナラスコトニナル、ソレデ第一ノ質問ハ、只今委員長カラ御報告ニナリマシタ此ノ増産問題、是ハ餘程具體的ノ材料ヲ取ラナケレバナライノデスガ、拓務省ノ方ガオイデニナラヌモノダカラ取ルコトガ出來ナイ、此處デソレヲヤッテ居タノデハ何度立タナケレバナライカ分リマセヌカラ、是ハ他ノ時機ニ譲リマス、第二ノ質問ハ、大臣ガオイデニナラナイノデ切ツテシマッタ、是ハサウ度々立タヌデモ濟ムコトト存ジマスカラ此處デ致シマス、ソレハ此ノ大キナ増産計畫ヲヤルニ付キマシテ、産業組合ガ如何ナル用ヲスルノカト斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、是ダケノ大キナ事業ヲヤルニ付キマシテハ、産業組合トシテハ非常ニ重要ナ部分ヲ働カナケレバナラスダラウト思フ、産業組合ノ地位ト云フモノハ、農業界ニ於テ非常ニ重大ナ地位、之ニ對シマシテハ、此ノ増産計畫ヲヤルニ付テハ、各種ノ方面ニ付テ非常ナ活動ヲサレルコトト考

ヘル、ドウ云フ風ニ動カレルモノカ、之ヲ農林大臣ニ伺ヒタイ、尙ソレニ關聯致シマシテ今日ノ産業組合ノヤリ方デス、サウ云フ重大目的ヲ遂行スルノニ、稍、遺憾ナ點ガアルト云フコトヲ茲ニ指摘シテ、農林大臣ノ御答ヲ願ヒタイ、是ハ衆議院デモ問題ニナリマシタ、此處デ繰返スノモ誠ニ恐縮デゴザイマスガ、話ノ順序上一應御許ヲ願ヒタイ、ソレハ申ス迄モナク、産業組合ガ保險會社ヲ買込シタト云フ問題、私ノ伺ヒタイノハ是ガ法律ニ適法ナモノデアルヤ否ヤ、第二、適法デアルトシテモ是ハ安當ナモノデナイト思フガ如何デアリマスカ、被保險者ハ決シテ組合員ダケデヤナイノデス、其ノ會社ノ被保險者ト云フモノハ、産業組合員バカリデナク、誰デモ、我々デモソコニ保險ヲ掛ケテ居リサヘスレバ當然今度産業組合デアル保險會社デスガ、何デスカ保險部ト云フカ、ソレノ被保險者ニナル、其ノ點ガ甚ダ穩當デナイ、産業組合ハ法律ノ範圍ヲ逸脱シテ居ルヤウニ考ヘル、又逸脱シテ居ナイデモ甚ダ穩當デナイヤウニ思フ、此ノ點、ソレカラ尙此ノ會社ハ、世間傳フル所ニ依ルト百七十萬圓位デモ買手ガナカッタサウデス、ソレヲ五百萬圓デ買フ、甚ダ是ハ穩カデナイ、ドウ云フ風ニ御見受ケニナルカ、實ハ産業組合ト云フモノハ、經理上カラ云フト前ニ大失敗ヲヤッテ居ル、御承知ノ通り此處デ其ノ爲ニ法律案カ豫算案迄ガ出テ居ル、莫大ナ損失ヲ國民ガ負擔シテヤッタコトガアリマス、其ノ時ノ態度ナドモ甚ダ面白クナ

イ、事情が悪クナレバ損スルノハ當リ前チヤナイカト云フ無責任ナコト迄當業者ハ言ハレル、ソレナラ少シ風ガ吹イテ船ガヒックリ返レバ船長ノ責任デヤナイト云フコトデ、甚ダ意味ヲナサナイ言明迄アッタ、斯ウ云フ風ナ國民ニ厄介ヲ掛ケタ産業組合ナンドスカラ、斯ウ云フコトハ餘程慎マレデ、假令ナルコトガ宜イニシテモ、百七十萬圓ノモノハ百七十萬圓デ買ヘバ宜イノデ、ソコラノ點ガ色々之ニ付テハ流言蜚語ノアルコトハ申ス迄モナイ、ドウモ産業組合ノヤリ方ハ餘リ手ヲ擴ゲ過ギル、ソレダモノダカラ、産業組合ガ官吏ヲ左遷サシタト云フコト迄、衆議院ノ或方ガサウ云フコト迄言ハレテ居ル、サウ云フコトハ能ク存ジマセヌケレドモ、兎角是等ノ點ニ付キマシテハ、國民ハ多大ナ疑惑ヲ持ツテ居ル、此ノ點ハ農林大臣竝ニ商工大臣カラ政府ノ之ニ對スル御答ヲ伺ヒタイト思フ、尤モ商工大臣ハオイデニナリマセヌサウデ、是モ前ニ農林大臣、拓務大臣ニ申上ゲタ通り、今日オイデニナラナイト云フコトハ甚ダ遺憾ト致シマスケレドモ、是モ已ムヲ得マセヌ、適當ナ時機ニ御答ヘ下サレバソレデ宜シイ、今ノ點ニ付キマシテ農林大臣ノ御答ヲ願ヒマス

〔國務大臣島田俊雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(島田俊雄君) 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シマス、昨日ノ豫算委員會ノ會議ニ出席出來マセヌデシタコトハ、誠ニ遺憾ニ存ジマス、丁度衆議院ニ於キマシテ米穀ノ應急處置ニ關スル改正法律案ノ審

議ガアリマシテ、大臣トシテ終日其ノ方ニ列席ヲ致シテ居リマシタヤウナ事情デ伺フコトガ出來ナカッタノデアリマシテ、決シテ議案ヲ輕視スルト云フヤウナ意味ガアッタ譯デハナイノデアリマス、ドウゾ御諒承願ヒマス、只今ノ御尋ノ産業組合ノ増産計畫等ニ付テノ働キニ關シマシテハ、是ハ私ガ改メテ申上ゲル迄モアリマセヌ、今日産業組合ハ非常ナ發達ヲ致シテ居リマス、農産物ノ生産部面竝ニ配給ノ部面ニ對シマシテ偉大ナル力ヲ致シテ、國家ノ政策ニ協力ヲ致シテ居リマスコトハ改メテ申ス迄モナイ次第デアリマス、尙此ノコトニ付キマシテハ、將來ニ互リマシテ、此ノ組合ノ各方面ニ於ケル働キヲ希望シテ居リ、又協力ヲ求メテ居ル次第デアリマス、次ニ此ノ組合ノ保險事業經營ト云フ問題ニ付キマシテノ御尋デアリマスガ、是ハ産業組合ガ直接ニ保險事業ヲ營ムト云フ問題デハナイノデゴザイマシテ、産業組合ノ集メテ居ル資金ヲ保險事業ノ方面ニ向ケウツシテ居ルト云フ事柄デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、本省ト致シマシテ此ノ點ニ付テハマダ正式ノ報告ヲ得テ居リマセヌ、併シナガラ議會ニ於キマシテ、既ニ衆議院ノ豫算總會竝ニ本議場ニ於キマシテモ、只今御質問ガアリマシタヤウナ次第デアリマシテ、是ハ産業組合ノ全體ノ上カラ考ヘマシテ重大ナル問題ト考ヘテ居リマスノデ、此ノ件ニ關スル資料ヲ十分ニ集メマシテ、目下慎重ニ研究ヲ致シテ居ル次第デアリマ

ス、而シテ此ノ産業組合ノ發達ニ伴ヒマシテ、組合ガ設立ノ本旨ニ逸脱シタル行動ガアルト云フ點ニ付キマシテハ、御承知ノ如ク所謂反産運動ト云フモノガ一方ニアルヤウナ次第デアリマシテ、國家ノ爲現時極メテ必要ナ又有效ナ働キヲ爲シテ居リマス同時ニ、他ノ一面ニ於キマシテハ、商業者、工業者等ノ方面ニ對シマシテ色々ナ接觸ガ起リマシテ、ソレガ爲ニ所謂産業組合ノ不當進出ト云フヤウナ問題ガ又論議セラレル次第デアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ常ニ注意ヲ致シマシテ、組合トシテノ本旨ニ逸脱スルガ如キ活動ニ對シマシテハ、監督ノ上ニ於テ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス、只此ノ度ノ事柄ガ果シテ組合ノ法規ニ正面ヨリ違背シテ居ルモノデアルカ、或ハ精神的ニ之ニ遺憾ノ點ガアルカト云フヤウナコトニ付キマシテハ、具體的ノ問題デアリマスカラシシテ、具體的ニ其ノ事實ニ付テ精密ナ調査ヲ致シマシテ、又關係ノ各官廳ニ對シマシテモ十分意見ヲ徵シ研究ヲ致シマシタ上ニ善處シテ公正ヲ失ハナイヤウニ處置ヲ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、之ニ付キマシテハ、更ニ詳細ナ材料ヲ集メ、結論ニ到達致シマシタ機會ニ於キマシテハ重ねテ申上ゲルコトガアラウト思ヒマスガ、右ニテドウゾ御諒承ヲ願ヒマス

〔子爵大河内輝耕君演壇ニ登ル〕

○子爵大河内輝耕君 政府ニ誤解ガアルトイケマセヌカラ一應申上ゲテ置キマス、只

今御答ヲ得マシテ本問題ニ對スル御答ハ諒承致シマシタ、併シ此ノ問題ハ農林省ダケノ問題デナイト私ハ思フ、保險ノ方ニ關係致シマスカラ商工大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ、今日御差支デアルト云フコトデ、御差支デアラナレバ此ノ次ニ御出席ノ時ニ、何時デモ宜シウゴザイマスカラ、成ルベク最近ノ機會ニ御答ヲ煩シタイと思ヒマス、ソレカラ今、衆議院ノ委員會ガアツカカラ出ラレナカッタト云フコトデゴザイマスガ、是ハ私ハ承服出來ナイ、議案ガコチヲノ方ガ重大デアルト思ヘバアチヲ御斷リニナレバ宜イ、ソレカラドウシテモブツカッテ困ルト云フコトナレバ、衆議院ナリ貴族院ナリニ御交渉ニナツテ、委員會ノ日ヲ變ヘテ貰フヤウニ御相談ニナツテ一向差支ナイ、衆議院ガアルカラ出ラレナイ、出ラレナイト云フコトデハ何時ダッテ出ラレナイ、ソレダケノ處置ヲ何故御執リニナラナカッタノカ、今ノ御答辯デハ、揚足ヲ取ルヤウデ恐縮デスガ、衆議院ノ議案ハ貴族院ノ議案ヨリ重カッタト政府ハ認メタト言ハザルヲ得ナイ、誠ニ不思議千萬、或ハ私ノ意味ガ政府ノ言フコトヲ取違ヘテ居ルカモ知ラス、併シ將來ノ例ニナルカモ知ラス、事重大ナ貴族院ノ審議權……ト言ッテハ餘リ大キ過ギマスガ、審議シテ行ク上ニ於テ重大ナ影響ガアルカト思ヒマスカラ、重ねテ此ノ點ハ明カニシテ置キタイ

〔國務大臣島田俊雄君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(島田俊雄君) 大河内子爵ヨリ重ねテノ御發言ニ對シマシテハ、委細了承

致シマシク、將來ハ十分注意致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 他ニ御發言モナケレバ、是ヨリ採決ヲ致シマス、御異議ガナケレバ三案ヲ全部問題ニ供シマス、各豫算案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

(議員起立)

○議長(伯爵松平賴壽君) 全會一致ト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第四、委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長秋月子爵

委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年二月十三日

委員長 子爵秋月 種英
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

(子爵秋月種英君演壇ニ登ル)

○子爵秋月種英君 只今日程ニ上リマシク委託又ハ郵便ニ依ル戸籍届出ニ關スル法律案ノ特別委員會ノ經過竝ニ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、委員會ハ十日ト十二日ト十三日ノ三日間ニ互リマシテ開會致シマシテ、先ヅ司法大臣カラ本案提出ノ理由ヲ詳細ニ説明ヲ求メマシテ、引續キ質疑ニ入リマシタノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ専門的ニ實體法竝ニ手續法上ノ關係等ニ於キマシテ幾多ノ質疑應答ガ行ハレマシテ、

時ニハ速記ヲ中止致シマシテ懇談ヲ致シマシタノデアリマスガ、其ノ詳細ノコトハドウカ速記録ニ依ッテ御覽ヲ願ヒタス、要シマスルニ本案ノ趣旨ハ二點ゴザイマシテ、今回ノ事變ニ際シマシテ、戰鬪其ノ他公務ニ從事セラレル人ガ自ラ戸籍ノ届出ヲ爲スコトガ困難ナ爲ニ、其ノ届出ヲ委託スル事例ガ尠クナイノデゴザイマス、斯様ナ場合ニ於キマシテ、其ノ者ガ偶々名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレルト云フヤウナ場合ニ於キマシテ、其ノ後ニ於キマシテモ、其ノ委託ニ基キマシテ、且又届出人本人ノ意思ヲ尊重致シマシテ、有效ニ戸籍ノ届出ヲ爲シ得ルモノトスルコトガ、遺族ノ身分關係ハ勿論其ノ他ノ諸般ノ關係ニ於キマシテ極メテ必要ナコトト認メマシテ、當局ニ於キマシテハ從來サウ云フ場合ノ届出ハ受理ラスルコトニ取扱ハレテ居リマシタノデゴザイマス、其ノ件數ヲ御參考ノ爲ニ申上ゲマスガ、昭和十二年十二月カラ同ジク十四年九月迄ニ、婚姻ニ於キマシテハ三百三十一件、出生ニ於キマシテハ二百五十九件、養子縁組ニ於キマシテハ百八十七件、認知、是ハ胎兒認知モ含シテ居リマスガ百八件、合計一千七十餘件ノ多キニ上ッテ居ル次第デゴザイマス、現行法ノ規定ニ於キマシテ不備ノ點ガアリマスノデ、斯様ナ届出ノ效力ハ、本人ガ死亡ヲ致シマシテ、其ノ死亡ノ時ニ遡ッテ其ノ效力ヲ生ズルモノトスルト云フコトニ付キマシテハ、疑義ヲ挾ム餘地ガ全然ナイトハ申サ

レマセヌノデゴザイマス、且又依託ガ本當ニ依託ガアツカドウカ、之ヲ審査致シマスル手續上ノ規定モアリマセヌノデゴザイマス、仍テ此ノ點ニ關係致シマスル規定ヲ整理致シマシテ、依託ノ場合ニハ、裁判所ノ確認ガアリマシタ場合ニ之ヲ受理スルト、斯様ニ定メマシタノガ第一點デゴザイマス、次ニハ同様ナ人が郵便ノ届出ニ依リマシタ場合ニ、偶々其ノ郵便物ガ戸籍役場ニ到着致シマシタ場合ニハ名譽ノ戰死ヲ遂ゲラレテ居ル、斯様ナ場合モ尠クナイノデゴザイマス、斯ウ云フ場合デモ、前ト同ジ趣旨ニ依リマシテ當局ニ於テハ受理ヲシテ居リマシタノデゴザイマス、其ノ件數ヲ御參考ノ爲ニ申シマスレバ、出生ガ三百二十八件、婚姻ガ百十三件、養子縁組ガ六十一件、認知ガ、胎兒ヲ含ミマシテ二十五件、合計五百二十七件トナッテ居リマス、斯様ナ次第デゴザイマシテ、是モ明文ヲ以テ明カニ致シマシタノガ第二點デゴザイマシテ、此ノ法律案ノ第一條ハ依託ノ場合ヲ規定致シマシテ、第四條ニ郵便ノ場合ヲ規定致シマシタノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ質疑應答ヲ終リマシテ、討論採決ヲ致シマシタノデゴザイマスガ、本案ハ適切ナルモノト認メマシテ全會一致デ可決ニ相成リマシタノデゴザイマス、尙一言申上ゲテ置キマスガ、委員ノ一人ノ御方カラ、斯様ナ法律ハ一日モ早く施行サルベキモノナト思フガドウ云フ意嚮デアアルカ、斯様ナ御質問ガアリマシタノデゴザイマス、ソレニ付

キマシテ、當局ト致シマシテモ一日モ早イコトヲ希望致シテ居ルガ、色々ノ關係ガアルノデ、晩クトモ四月一日カラ之ヲ實施シタイモノデアアル、斯様ナ意嚮デゴザイマス、簡單デゴザイマスガ、以上ヲ以チマシテ御報告ヲ終リタイト存ジマス、ドウカ委員會デ可決致シマシタ通りニ速カニ御決定アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ハゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀

會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○議長(伯爵松平賴壽君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(伯爵松平賴壽君) 御異議ナイト認メマス

○議長(伯爵松平賴壽君) 日程第五、昭和九年法律第四十五號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長山縣公爵

昭和九年法律第四十五號中改正法律案右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年二月十五日

委員長 公爵山形 有道

貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔公爵山縣有道君演壇ニ登ル〕

○公爵山縣有道君 只今議題トナリマシタ昭和九年法律第四十五號中改正法律案ノ特別委員會ニ於ケル經過並結果ヲ御報告申上

ダマス、本委員會ハ二回ニ互リ開會、委員諸君ハ慎重ニ審議ヲ盡サレタノデアリマ

ス、昭和九年法律第四十五號ハ、既ニ御承知ノ通り貿易調節及通商擁護ニ關スル法律

デゴザイマシテ、委員會ニ於ケル政府ノ説明ニ依リマス、從來本法ガ發動セラレマシタノハ昭和十年「カナダ」ニ對シ、昭和十一年ニ於テ濠洲ニ對シテナサレタモノデア

リマス、何レモ其ノ相手ノ國ノ反省ヲ促シマシテ、十分ニ其ノ效果ヲ發揮シ得タノデゴザ

イマス、然ルニ最近ニ於ケル國際通商情勢ヲ見マスルノニ、本法立法當時ニ比シ、經濟「ブ

ロック」形成ノ思想ハ何等減退スルコトナキノミナラズ、支那事變ニ對スル我が真意ヲ誤解シ、或ハ又歐洲戰亂ニ伴フ自衛的立場カ

ラ致シマシテ、我が國ノ貿易ノ調節及通商擁護ノ爲ニハ、此ノ際本法ノ施行期間ヲ更ニ三年間延長致シマシテ、以テ政府ノ意ヲ存スル所ヲ示ス必要ガアリマス、本改正案ハ提出セラレタノデゴザイマス、次ニ本委員會ニ於ケル質疑應答ノ概要ヲ申上

マス、先ヅ委員諸君ヨリ、濠洲「カナダ」ニ對スル本法適用ノ實例ニ付テ詳細ニ互リ政府ノ説明ヲ求メラレマシタ、又只今ノ國際情勢ニ於テ、本法ヲ發動スベク豫見セラル、事實アリヤトノ質疑ガゴザイマシタガ、是ハ速記録ニ依ッテ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス、斯クテ一委員ヨリ、政府ノ説明スルガ如キ實例竝ニ現在ノ實情ヨリスレバ、本法ノ如キハ極メテ必要デアッテ、其ノ施行期限六年ヲ九年ニ延長スルガ如キ暫定的ノモノニスルヨリハ、イッソ此ノ施行期限ニ關スル附則第二項ヲ止メテハ如何カトノ質

疑ガゴザイマシタ、之ニ對シ政府ハ、今後相當長イ期間世界各方面ニ色々ノ障礙ガアルコトト豫想セラレルガ、斯クノ如キ豫想ハ希望シナイコトデアッテ、唯已ムヲ得ナイ對抗策トシテ斯カル處置ニ出ル譯デア

ルカラ、先ヅ差當リ、三年ヅ、延長スルガ宜イト思フト云フ答辯ガゴザイマシタ、又次ニ委員ヨリ、本法立法ノ當時ト國際通商

情勢ノ異ナル現下ノ改正案トシテハ、單ニ其ノ施行期限ヲ延長スルノミデハ物足り

ニ付更ニ萬全ノ策ヲ講ズル必要ハナイカト云フ質疑ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ

ハ、政府ハ國際通商關係打開ノ爲帝國ノ執ッテ居ル諸種ノ對策ヲ擧ゲラレテ、事詳細ニ説明ガゴザイマシタ其ノ他委員會ニ於テ

ハ、本法施行後ノ各國ノ輸入防遏手段ノ概要等ニ付キマシテ政府ノ説明ヲ求メマシ

タ、之ニ付キマシテハ尙速記録ニ依ッテ御了承ヲ願ヒタイト存ジマス

〔副議長侯爵佐佐木行忠君議長席ニ著ク〕

次ニ討論ニ入リマシテ、一委員ヨリ本案ハ必要適切ナル處置デアリマス、贊成ノ意ヲ表サレ、而シテ大戰開始後自衛的見地ヨリ致シマシテ、又日支事變ノ眞意ヲ解セ

ザル關係ヨリシテ、諸外國ハ如何ナル處置ニ出ルカモ圖ラレマセヌ、仍テ政府ハ

我が通商貿易上臨機應變ノ處置ニ對シ一層ノ努力ヲ致サレタイト云フ希望ヲ述べラレ

マシタ、討論ヲ終リマシテ採決ノ結果、本

案ハ全會一致可決ヲ致シマシタ、簡單デゴザイマスガ、以上ヲ以テ委員會ノ御報告ト致シマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通リデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第六、裝蹄師法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、植村子爵

裝蹄師法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年二月十五日

委員長 子爵植村 家治
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔子爵植村家治君演壇ニ登ル〕

○子爵植村家治君 只今議題トナリマシタル裝蹄師法案ノ特別委員會ノ經過並結果ノ御報告ヲ申上ゲマス、本法案ノ特別委員會ハ、去ル二月十四日ヨリ始メマシテ、農林大臣提出ノ理由ヲ説明致サレマシタ、其ノ理由ヲ簡略ニ申上ゲマス、有能馬ノ維持造成ハ馬蹄ノ保護ニ俟ツ所頗ル多ク、特ニ現時局下ニ於キマシテハ一層其ノ必要ヲ痛感致シマス、然ルニ此ノ裝蹄工員ニ關スル現行規定ハ、明治二十三年法律第三十一號ノ古キ規則ニ基キマシテ、主トシテ技術

上ノ免許手續ヲ規定シタルニ過ギズ、又業者相互ノ連絡統制ヲ缺ク爲ニ技術ノ向上ヲ圖ルニ困難デアリマシテ、現時ノ情勢ニ即應セヌガ故ニ、今回新タニ裝蹄師法ヲ制定スルノ要アリトノ見地ノ下ニ、馬政調査會ノ諮問答申ニ準ジ是ガ立案ヲナシ、其ノ成案ヲ得タルモノト述ベテ居リマス、規定中ノ要項ヲ申シマスレバ、現行法ノ免許制度ハ其ノ儘踏襲致シマシテ、他ニ一定ノ缺格條項、即チ六年以上ノ刑ニ觸レタル者、禁治産者タリ又或種ノ病者タルノ時ハ之ヲ缺除シ、業務ノ範圍モ馬牛ノ裝蹄ニ限定シテ取締ル等ヲ定メ、而シテ一般組合ノ如キ道府縣單位ニハ道府縣裝蹄師會、内地ニハ日本裝蹄師會ナルモノヲ設ケマシテ、同業者間ノ統制アル活動ヲ促シ且之ガ技能向上ヲ圖ル爲ニ設ケルト述ベラレテ居リマス、今質疑ノ經過ノ一端ヲ申シマスレバ、五十年前ノ古キ蹄鐵工規則ト雖モ事足ル今日、火急ニ本案ヲ提出スルハ時局便乗ノ議リナキカ、又必要アリトスレバ今日迄ノ懈怠ノ憾ミ如何トノ質問ヲキツカケニ、蹄鐵工ガ裝蹄師ト變ツタ今日以後、名目ノ向上ト共ニ技能ノ向上ヲナスハ肯定スルモ、組合制度ノ強制加入ニ依リマシテ各箇ノ負擔ノ經費ノ増加ヲナスノ虞ナキヤニ付テノ質問ガアリマシタ、又馬蹄保護ノ重要性ヲ考フル時、蹄鐵業ノ向上性ニ思ヒテ致シマス時、學問的ノ方面ト技術トノ間ニ於テ百般ノ研究ト指導ヲ要スベク、是等ニ付テ政府當路者ニ對シ注意又ハ御意見ノ含メル質疑ヲ、

各專門ノ委員諸君ヨリ詳シク述ベラレタルニ對シマシテハ、政府ニ於キマシテハ、是等ノ質問要項ニ付、本法施行後ハ十分ニ蹄鐵工ガ裝蹄師ト相成リタル此ノ良キ名ノ上ニ實モ亦具ハルベク、有ラユル指導上ノ深切ヲ各般ニ盡スベキ旨ノ答辯ヲ得マシタルニ委員會ハ満足シ、又委員諸君ノ熱心ナル御審議ノ結果ハ、本案ハ討論ヲ用ヒズシテ全部一括シテ可決確定セラレタルモノデアリマス、此ノ段御報告ヲ申上ゲマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ勸議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス、御異議ガナケレバ全部ヲ問題ニ供シマス、本案全部、委員長ノ報告通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵秋田重季君 贊成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ勸議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 日程第七、大正十一年法律第五十二號中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、委員長公爵島津忠承君

大正十一年法律第五十二號中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和十五年二月十五日

委員長 公爵島津 忠承
貴族院議長伯爵松平賴壽殿

〔公爵島津忠承君演壇ニ登ル〕

○公爵島津忠承君 只今議題ト相成リマシ

大正十一年法律第五十二號中改正法律案ノ特別委員會ニ於ケル經過並結果ヲ御報告申上ゲマス、本法律ハ統計資料實地調査ニ關スルモノデアリマシテ、改正ノ點ハ、其ノ第一條第一項中「政府ハ農業及勞働ニ關スル」ト云フ事項ヲ「政府ハ農業、勞働及技術ニ關スル」ト云フ風ニ一部ヲ改正セムトスルモノデアリマシテ、其ノ提案ノ理由ハ、曩ニ本會議ニ於キマシテ政府當局ノ説明ガゴザイマシタノデ茲ニハ省略致シタイト思ヒマス、委員會ハ去ル二月十三日、十五日ノ兩日ニ之ヲ開キマシテ、先ツ最初ニ政府ノ説明ヲ求め、次デ質疑應答ヲ重ネタノデアリマスガ、今茲ニ其ノ主ナルモノ二三ヲ御報告申上ゲタイト存ジマス、先ツ第一ハ勞働者ト技術者ノ定義ニ付テノ質問デアリマスルガ、之ニ對シ政府ハ、本調査ノ勞働者トハ賃金ヲ得テ直接間接、事業體本來ノ作業ニ従事スル勞務者ヲ謂ヒ、技術者トハ事業體ニ於テ自然科学ノ知識ヲ實地ニ應用スル工程管理、設計、見積、検査、作業、醫療衛生、研究等ニ關スル業務又ハ其ノ指導監督ニ現ニ従事スル者、及ビ嘗テ從事シタルコトアル者、竝ニ内閣總理大臣ノ別ニ指定スル學校以上ノ學歷アル者、内閣總理大臣ノ別ニ指定スル資格試験又ハ檢定試験ノ合格者ニシテ現技術者タルノ取扱ヲ受ケザル者ヲ謂フ、トノ答辯デアリマシタ、次ニ昭和十三年臨時勞働統計實地調査ノ時ト、昭和十四年ノ第六回勞働統計實地調査ノ時ニ於キマシテ、技術者ノ統計ノ依頼調査ヲ爲シタルコトデアルガ、

其ノ數字ハ大體下ノ位デアルカトノ質問デアリマスガ、之ニ對シ昭和十三年ノ時ハ約七萬、十四年ノ際ハ約九萬トノ答辯デアリマシタ、次ニ統計資料實地調査ハ内地ノミナラス外地、例ヘバ朝鮮臺灣ニモ及スカトノ質問デアリマスガ、之ニ對シ現在内地外地ノ經濟關係ノ緊密ナル狀況上、是非サウ云フ風ニ致シタイ、唯内地ニ於キマスル工場、鑛山、交通事業體ノ狀況、或ハ技術者ノ狀況等ハ朝鮮、臺灣ノソレトハ多少違ヒマスノデ、實際上ノ調査ノ難易ニ相當距リガアリマスノデ、其ノ點外地ノ關係者トモ協議ヲ致シテ、出來得ル範圍デ御互ノ連絡ヲ取レルヤウニシテ行キタイトノ答辯デアリマス、次ニ此ノ調査ヲ受ケル工場ハ五人以上ノ勞働者ヲ使用シ、又ハ五人以上ノ勞働者ヲ使用スル設備アル工場ヲ謂フト云フノデアルガ、ソレ以下ノ工場ニモ技術者トシテ相當優秀ノ者ガアルト思フ、將來此ノ調査ノ範圍ヲ擴ゲル意思ハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ現在ノ所已ムヲ得ズ五人以上ト云フコトニ定メテアルガ、ソレ以下ノ所モ調査スルノガ理想デアリマスガ、現在ノ經費及範圍デハ少シ困難デアルトノ答辯デアリマシタ、次デ討論ニ移リマシテ、一委員ヨリ原案ニ賛成ノ旨ヲ述べラレ、續イテ採決ニ入り、全會一致原案通り可決ニ相成ツタ次第デアリマス、右御報告ヲ終リマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 別ニ御發言モナケレバ、本案ノ採決ヲ致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望致シマス

○子爵植村家治君 賛成

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 西大路子爵ノ動議ニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 本案ノ第三讀會ヲ開キマス、本案全部、第二讀會ノ決

議通りデ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵佐佐木行忠君) 御異議ナイト認メマス、是ニテ日程全部終了致シマシタ、次會ノ議事日程ハ、決定次第彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午前十一時十八分散會

